

Book Review



歯科医院での実用英会話 第3版

音声 DL 付

土田和範・廣島英雄・上沖彰宏・
Steven M. Wolfe・笛吹理絵 著

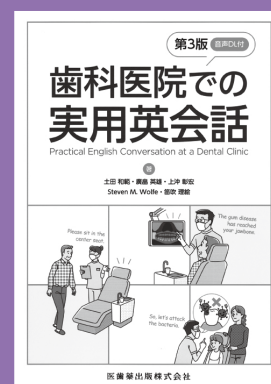


Reviewer

森田 学 Manabu Morita

(宝塚医療大学保健医療学部口腔保健学科教授)

B5 判, 96 頁
2 色刷り
定価 4,180 円
(本体 3,800 円+税 10%)
医歯薬出版刊
2023 年 8 月発行



特に、歯科医師、歯科衛生士を目指す学生さん達に手に取っていただきたい一冊を紹介したい。「英会話なんかできなくても大丈夫、スマホの同時通訳アプリがあるから」といった声を聞く昨今である。たしかに、外国人から道を聞かれて答える程度ならば、十分に役に立つ。観光地をめぐる海外旅行の場合も然りだ。しかし、日本の歯科診療室で通用するだろうか。相手は、歯・口にトラブルを抱え、不安だけでなく来院した外国人である。同時通訳を同伴するような、用意周到なケースはほぼない。そのような場合は、目と目を合わせて対応するのが一番だ。信頼関係が生まれ、その後の治療にも満足してもらえるようになる。患者の不安を和らげるために、英会話のスキルは必須なのだ。しかも、患者にしかわからないつらさ・痛さ、治療や治療費への懸念などを医療者が少しでも理解しようとしたら、日常の英会話のレベルでは明らかに足りない。自分が海外で

病気になって医療機関を受診したときを想像したら、容易に理解できよう。

本書は、臨床の最前線に立つ歯科医師が、自らの経験をもとに選りすぐった 25 場面をわかりやすく説明している。基本的な言い回しは、念を押すように何度も出てくる。生の音声データや問診用紙は自由にダウンロードできる。付録の Dental Touch & Talk は、紙面に記載されている内容を場面に応じて指でなぞることで、正確な情報交換ができるよう工夫されている。英会話が苦手な者には頼りになるツールだ。

版を重ねることに進化しているのと言うまでもない。今回の版では、メンテナンスやホワイトニングなどの項目が加わった。日本に長期在住する外国人にも配慮が行き届いた仕上がりとなっている。また、新型コロナウィルスを念頭においた患者対応も新規に追加された。すぐにでも現場で生かしてもらいたい。まさに、至れり尽くせりの内容だ。

生まれつき英会話が堪能な日本人なんてどこにもいない。英会話が上手な人は、それぞれに“きっかけ”があって勉強を始め、上達したのだ。海外の音楽や映画をもっと理解したい、世界の情報をもっと知りたい、ワクワクするような体験がしたい、などだろう。共通しているのは、自分の人生を楽しみたいという願望だ。歯科医療関係者や学生には、歯科診療室で使う英単語は身近である。文章として読むだけでなく、理解も早い。次は、診療室でのさまざまな場面を想定し、楽しみながら英会話を学んでいただきたい。上達するにつれ、自分の自信となり、英語コンプレックスから脱することになるに違いない。本書がきっかけとなり「海外の歯科診療室で働いてみよう」など、新たな自分の可能性にチャレンジしようと思う読者が現れるのを期待するのは欲張りだろうか。いや、過度な期待とは決して思っていない。人間の可能性は無限なのだ。